

Ashiya Chamber Orchestra

芦屋室内合奏団

第51回定期演奏会

The 51th Regular Concert



Since 1965

兵庫県立芸術文化センター

神戸女学院小ホール

Hyogo Performing Arts Center Recital Hall

2017年10月8日(日)

Sunday, October 8, 2017

開場 13:30

Doors Open at 1:30 p.m.

開演 14:00

Starts at 2 p.m.

ごあいさつ

芦屋室内合奏団は1965年に芦屋市浜町の橋本邸で発足し、今年で創立52年目となります。半世紀を超える長い年月の間に団員の入れ替わりも多くありましたが、アマチュアでも質の高い音楽を演奏するという発足当時の熱い想いが、当団の活動の原動力として途絶えることなく受け継がれています。

本日は弦楽合奏曲の代表的な作品群と併せて「ステラオブあかね Mエンジェル」を演奏します。日本人の心に深く響く作品ですが、作曲者の前田智子先生に当団でこの弦楽合奏版の演奏をする事を許可いただき、直々に演奏指導もして戴きましたこと厚く御礼申し上げます。バロックから後期ロマン派ドヴォルザークまでの各作品と共に、ご来場のみなさまにもご満足いただける時間となりますよう、心を込めて演奏したいと思います。

長い年月で培われた当団の伝統は、演奏会にいらしてくださるお客様、ご指導して下さる指揮者・トレーナーの諸先生方、活動を陰で支えてくださるホール・練習施設・演奏会スタッフの皆様、団員をサポートしてくれる家族、多くの方々のご協力とご支援あつての賜物と心より感謝しております。

これからも様々な作品にチャレンジして、上質な音楽を目指して活動してまいりますので、引き続き皆さまの温かいご支援・アドバイスの程よろしくお願い申し上げます。

2017年10月 芦屋室内合奏団 団長 鈴木雄二
団員一同

Program

ジェミニアーニ 合奏協奏曲 ト短調 作品3-2

Francesco Geminiani Concerto Grosso in G minor, Op.3 No.2

I. Largo e staccato - Allegro II. Adagio III. Allegro

ヘンデル 合奏協奏曲 ニ短調 作品6-10

Georg Friedrich Händel Concerto Grosso in D minor, Op.6 No.10

I. Overture II. Allegro III. Air IV. Allegro V. Allegro VI. Allegro Moderato

モーツァルト アダージョとフーガ ハ短調 K.546

Wolfgang Amadeus Mozart Adagio and Fugue in C minor, K.546

I. Adagio II. Fugue Allegro

前田智子 ステラオブあかね Mエンジェル～弦楽合奏のための

Satoko Maeda Stera of Akane M angel

ヴァイオリン独奏 鳥丸 安雄

Violin Solo Yasuo Torimaru

ドヴォルザーク 弦楽セレナーデ ホ長調 作品22

Antonín Leopold Dvořák Serenade for strings in E major, Op.22

I. Moderato II. Tempo di Valse III. Scherzo: Vivace IV. Larghetto V. Finale: Allegro vivace

指揮 酒井 睦雄 (相愛大学名誉教授)

Conductor : Mutsuo Sakai (Professor Emeritus, Soai University)

演奏 芦屋室内合奏団

Performers : Ashiya Chamber Orchestra

曲目解説

■ジェミニアーニ 合奏協奏曲 ト短調 作品3-2

合奏協奏曲は、バロック時代に用いられた音楽形式の一つで、独奏群とその他の合奏群に分かれその二群が交代しながら演奏する楽曲のことです。ジェミニアーニはイタリア生まれで、ヘンデルと同時代に英国で活躍しました。ヴァイオリン二本とチェロによる通常の三本の独奏群にヴィオラを加えた弦楽四重奏を独奏群にした合奏協奏曲の創始者です。独奏楽器の名人技で聞かせるのではなく、他の独奏群や合奏群と絡み合いながら全体が織り上がるように曲が進んでいきます。(Y.S.)

■ヘンデル 合奏協奏曲 ニ短調 作品6-10

独奏楽器群は二つのヴァイオリンと通奏低音楽器の組み合わせという標準的なものです。シンフォニックな豊かな響きや強弱の鋭い対比、即興的な自由さなどがありヘンデルならではの斬新さに満ちています。緊迫した雰囲気が続きますが、最後の楽章で突然明るく愛らしい曲で終わります。大変ドラマティックな構成です。(Y.S.)

■モーツァルト アダージョとフーガ ハ短調 K.546

アダージョは遅い速度を示して落ち着いてゆっくりという音楽用語です。モーツァルトのこのアダージョには厳しく不吉な予感の中にもほっとするような瞬間もあります。続くフーガとは、ひとつの元になる旋律を複数の声部が模倣しながら次々に追いかけて絡み合いながら演奏する様式の曲です。ぶつかりあう不協和音は緊張感があり息詰まるような迫力で最後まで突き進んでいきます。(Y.S.)

■前田智子 ステラオブあかねMエンジェル～弦楽合奏のための

バレエ発表会のプログラムに写真を載せるため、衣装を身につけて写真館での撮影を終えた帰り道。平成10年(1998年)4月12日日曜日17時15分。長崎県東彼杵郡波佐見町折敷瀬郷飛瀬下池、自宅から4kmのところでした。酒を飲んだ上でカーレースをした20代の若者が運転する暴走車。ゆるい右カーブの上り坂に設置された道路脇のモニュメントに乗り上げ、半回転しながら家族と釣りを楽しんでいた「丸田あかね」さんに突っ込んだのです。そして、波佐見南小学校の5年生だったあかねさんは、10歳でその生涯を閉じました。明るくのびやかに育った愛娘を眼前で失った両親の悲嘆、周囲の驚きと怒り。深い苦しみの中にあつたご両親を慰めたいという友人からの依頼を受け、前田智子氏によって紡がれた曲が「ステラオブあかねMエンジェル」です。曲名は、亡くなった翌年1999年5月17日に6.9等星が米国議会図書館に「ステラオブあかねMエンジェル」として登録されたことに由来しています。

前田智子(まえださとこ)プロフィール

1989年宮城会全国箏曲コンクール作曲部門、1998年国立劇場作曲コンクール、2001年文化庁舞台芸術創作奨励作曲コンクール、同年「アジア音楽祭メルボルン」、2011年邦楽ジャーナル「変絃自在・野坂操壽x沢井一恵」の作曲賞、各コンクールに入賞入選。2001年ドイツのケルン日本文化会館で「鷺娘」。2004年「散華」が発表される。2003年ロマネスク音楽祭で委嘱曲を発表。2004年愛知万博オープニングセレモニーで、スイス大統領の臨席を得て委嘱曲を披露。好評にてスイステレビヤシュレスビツヒ音楽祭などで演奏される。その他海外のコンサートで多数の委嘱曲が再演され続けている。2007年委嘱曲「白道」が発表された「田嶋直土リサイタル」が芸術祭優秀賞を受賞。この曲は2012年西本願寺親鸞聖人750回大遠忌法要で奉納される。2008年谷川俊太郎氏の朗読による作品展「音の個展」は3回開催。2011年国際尺八コンクールの課題曲「一聲」を作曲。2013年難波別院親鸞聖人750回忌法要で音楽法要の作曲家として抜擢されお経と弦オーケストラ「礼讃楽」を発表。現在、コーラス・室内楽など指導。各種コンクールの審査員。日本作曲家協議会々員。〈作曲家グループ邦楽2010〉に所属。

CD「白道」「鷺娘」「あおのふるさと」「AKANE」「さくらさくら」他

■ドヴォルザーク 弦楽セレナーデ ホ長調 作品22

美しい旋律や落ち着いた柔らかな弦の響きに溢れ、ドヴォルザークを代表する作品の一つです。懐かしさのある美しいメロディで満たされた第一楽章、第二楽章は優美なワルツです。第三楽章は明るいメロディが軽快に動き回り、第四楽章は静けさと憧れに満ちた夜想曲、第五楽章は生き生きとしたフィナーレで懐かしさや哀愁も感じさせます。最後に第一楽章のメロディが静かに優しく現れますが急速なフィナーレが戻り曲を閉じます。(Y.S.)

プロフィール

■酒井 陸雄 指揮、音楽監督

桐朋学園女子高等学校音楽科(男女共学)を経て1971年桐朋学園大学卒業。指揮を斎藤秀雄、秋山和慶両氏に、クラリネットを北爪利世、二宮和子、F. フックス各氏に師事。1971年より相愛オーケストラ指揮者、1977年ザルツブルクにてO. スイトナー氏に師事。同年、東京にてS. チェリビダッケ氏のゼミナールに参加。

2001年には芦屋室内合奏団を率いてドイツのバンベルクにてバンベルク交響楽団団員とともにニューイヤーコンサート、ドレスデンにてフラウエン教会落成記念コンサート等を行い好評を博す。

2005年第19回京都芸術祭音楽部門京都府知事賞受賞。相愛大学教授として音楽専門家の育成にあたる傍ら、1974年より芦屋室内合奏団音楽監督、高知大学医学部管弦楽団常任指揮者、京都薬科大学管弦楽団常任指揮者をつとめる等、アマチュア合奏団の発展にも尽力している。相愛大学名誉教授。

■河村 典子 アンサンブル指導

3歳よりヴァイオリンを始める。桐朋学園付属子供のための音楽教室、桐朋女子高等音楽学校音楽科を経て、桐朋学園大学音楽学部を4年目に退学、同じ年に、西ドイツ政府給費留学生となり渡独。ミュンヘン音楽大学、エッセン音楽大学、ベルリン芸術大学にて研鑽を積む。久保田良作、ジャン・ローラン、サシュコ・ガヴリロフ各氏に師事。

チューリッヒを拠点に積極的なソロ、室内楽の演奏録音活動を行い、スイス・ドイツにおける古城コンサート鑑賞ツアー、乙女文楽コンサートツアー、スイス外務省広報部との協働によるENISHIプロジェクトなどのプロデュースも手がけている。また、室内楽セミナーも積極的に開催し、毎年軽井沢にて春・夏の室内楽ワークショップを行うなど後進の指導にあたっている。2011年より芦屋室内合奏団を指導。

■芦屋室内合奏団

Members

ヴァイオリン：	伊藤 優子	大谷 差智子	喜多 智佐子	古賀 美里	小林 有希
	白石 知哉	○鈴木 光比古	※鳥丸 安雄	橋本 栄子	藤本 恭子
	堀田 純子	○三村 誠子	◎吉岡 道子		
ヴィオラ：	鈴木 信子	鈴木 道子	○鈴木 雄二	井上 昌子*	
チェロ	： 大野 美紀子	○鳥丸 直子	宮崎 晴夫	阿江 愛*	
コントラバス：	○川上 達文				
チェンバロ	： 小津 久子*				

(※：コンサートマスター ◎：アシスタントコンサートマスター ○：パートリーダー *：団友)

Officials

団長	： 鈴木 雄二	コンサートマスター	： 鳥丸 安雄
事務局	： 堀田 純子	会計	： 鈴木 信子
監事	： 白石 知哉		

団員募集 以下のパートで団員を募集しています
ヴィオラ 1名
詳しくはホームページをご参照ください。

♪ 第52回定期演奏会のご案内 ♪

日時：2018年9月23日(日) 14時開演予定

場所：兵庫県立芸術文化センター 神戸女学院小ホール

ホームページ



芦屋室内合奏団ホームページ <http://orchestra.musicinfo.co.jp/~ACO/>

(このホームページは、クラシック音楽情報センター(<http://www.musicinfo.com>)より、サーバーの無償使用の提供を受けています)